

平成 28 年度第 1 回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました

平成 28 年 8 月 24 日（水）から 26 日（金）まで、平成 28 年度第 1 回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました。

今回は新潟大学、新潟医療福祉大学、新潟薬科大学、そして富山大学から、多職種の学生 15 名が参加してくれました。

8 月 24 日のワークショップでは、アイスブレイキングの後、スタッフの歯科医師黒川先生から「口腔ケアの重要性」のタイトルで、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病など、多くの疾患に口腔病変が関連性しているなどレクチャーを受けました。

その後、歯科衛生士の田中さん、中井さんも加わり、口腔ケアの実際として、口腔内の観察、ブラッシングなどの口腔ケアを実演し、学生同士でも手技を体験しました。

つぎに、「口腔ケアを通して考える超高齢社会の課題」について、KJ 法を用いて課題の抽出を行いました。各班とも、口腔ケアを行う担い手不足、口腔ケアの重要性の認識不足、口腔ケアを必要とする患者の増加など、様々な視点から問題点を抽出していました。



午後からは、小泉健先生より誤嚥性肺炎の予防について、鈴木翼先生からソーシャルキャピタルについて、ミニレクチャーがありました。
その後、KJ法で抽出した課題をもとに、翌日のフィールドワークの目標について一般目標と行動目標をたててもらいました。



2日目は、弥彦村の田村歯科医院と桜井の里、柏崎市の柏崎総合医療センター、上越市柿崎区のよねやまの里の3地区に分かれて、口腔ケアをテーマにフィールドワークを行いました。各班とも口腔ケアについてのレクチャーを受けたり、嚥下体操と一緒に実演したり、歯科診療や実際のケアを間近で見学させていただいたり、有意義な体験実習を行うことができました。



3日目は、「フィールドワーク体験共有」として、前日のフィールドワークで実際の医療現場で行われていた口腔ケアの様子や、実際に体験実習した内容、またそこからどのようなことを考えたかなどを、班ごとにプレゼンテーションして、2日目の各班の体験を共有しました。

最後に今回のトータルヘルスケアワークショップ・フィールドワークの感想をレポートにまとめてもらいました。ポストアンケートの後、参加した学生に修了証が渡され、終了しました。

今回も多職種を目指す学生に参加していただき、参加した学生のモチベーションも高く、いつも通り非常に活気のある密度の濃いワークショップとフィールドワークとなりました。

